

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス太陽の家 どんぐり		2026年 3 月 16日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		2部屋の支援室で対応している。また、広い空間が必要な場合は、体育館などを使用して対応しています	クールダウンする場所が限られている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		配置基準+1名の職員を配置している	引き続き行っていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		写真等を使用し、わかりやすい様に環境を設定している	状況に応じて使用していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の掃除と玩具の消毒を行っている	修繕箇所はその都度修繕していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		落ち着ける環境や空間を提供している	場面にに応じて対応していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		支援前後に目標設定や1日の振り返りを行っている	改善点を次回利用時に生かせる様にしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年1回のアンケート調査を行っている	アンケートの中で可能な限り反映できるように改善していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年2回の面談に加え、個別に意見を聞く時間を設けている	引き続き行っていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在、第三者による外部評価は実施出来ない	検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部・内部研修の参加・職員による研修を行っている	引き続き行っていく
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎月プログラム会議を行い、立案をしている	公表はHPにてご家族に浸透出来るようにしていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		年2回の保護者へのアセスメントを行い、各職員と話し合いながら作成している	その都度課題を共有し計画に反映していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		毎回の終礼で子どもの利益を優先した話し合いを行っている	各お子さんの得意不得意を共有し、より良い支援を目指す
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		5領域に基づいた課題の共有をし、計画に沿った支援を行っている	各職員が計画を意識して支援にあたる様に情報の共有をしていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		各お子さんの分かり易いにフォーカスした支援を心掛けている	必要に応じて視覚支援や、声掛けの工夫をしていく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		計画作成時に、保護者からの聞き取りをして具体的な支援内容になる様に行っている	各お子さんの課題に沿った計画内容になる様に努めていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		行なっている	全職員で話し合い日々の活動を決めていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に応じて行事を取り入れている	各お子さんが楽しんで参加出来るように全職員で考え立案していく

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別は必要に応じて行い、集団での参加が難しいお子さんは参加出来る方法を考えている	状況に応じて対応していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼にて打ち合わせや分担を行っている	連携してコミュニケーションを取れるように日々努めていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		日々の振り返りと改善点を話し合っている	引き続き行っていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		ご利用毎に支援記録をつけ、振り返りと改善方法を話し合っている	引き続き行っていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		大きく課題が変化した場合は見直しを行っている	必要に応じて行っていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		ガイドラインに則して支援している	継続して行っていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		意思決定を念頭に、様々な場面で自己選択が出来るようにしている	日々の関りの中で選択場面を取り入れていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達管理責任者が中心となり参加している	全職員に情報の共有を行っていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携して行う体制に努めている	継続して行っていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		日常的に学校と連絡を密に取っている	継続して行っていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	必要に応じてご家族確認のもと、情報共有している	継続して行っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		保護者の同意のもと、依頼に応じて適宜行っている	必要に応じて行っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	必要に応じて児童発達支援センターと連携し、助言を受けている	必要に応じて行っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		夏休み期間を利用して、児童館での交流を行いました。	継続して行っていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		積極的に参加し、情報共有や意見交換を行っています	継続して行っていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時にご家族と話をし課題を共有している	継続して行っていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	保護者から依頼があった際は、事業所で行っている支援方法や成功事例を伝えている	日々の様子を確認しながら進めていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に行い、変更があった際は随時丁寧に伝えている	継続して行っていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		お子さんの最善の利益を踏まえた上で、ご家族と面談を行っている	継続して行っていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		年2回の放課後等デイサービス計画を作成し説明に努めている	継続して行っていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて面談や電話で助言と支援を行っている	必要に応じて行っていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	現在は出来ていない	来年度に向けて保護者教室を検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	苦情受付の体制を整備し、迅速に対応するように努めている	再発防止に努めていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	月に1度、活動報告をHPで行っている	各ご家庭にHP掲載の際は伝えていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	規程に則り十分に留意している	現行継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	お子さんやご家族が理解しやすい様に写真や絵カードを使用し説明している。また、コミュニケーションボードなどを利用し意思が表現できるような配慮をしている	現行継続していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	年に1度の祭りを開催し周辺住民やご家族を招待している	現行継続していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	各マニュアルを策定している	今後更なる周知を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	BCPを作成し、定期的に訓練を行っている	各ご家庭に訓練の様子を伝えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	ご利用前にご家族と確認している	随時変更の際はその都度確認していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	アレルギーがある際は医師の指示書を持参して頂き対応している	引き続き行っていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	支援の場で安全管理が出来るように話し合っている	職員全体で安全管理に関する研修を行っていく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	手紙の配布はしていないが、随時避難訓練を行っている	引き続き行っていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	職員会議の際にヒヤリハット再発防止に向けて職員間で話し合っている	ヒヤリハット事例があった際は随時話し合いをし改善に努める
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	月に1度虐待防止委員会を行い、職員間での周知と適切な対応について話している	現行継続していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	必要が生じた場合は、ご家族と相談しガイドラインに則して適切に対応していく	現行継続していく	